

保護者様

京都市立岩倉南小学校  
校長 石田 和三

## 令和元年度『後期学校アンケート』の結果報告

12月に行いました『よりよい学校をつくるために～みなみアンケート～』調査の結果をお知らせいたします。本来なら先週に学校だよりと一緒に配布予定でしたが、新型コロナウイルス関係の対応で臨時休業前の最終日の配布となりますことをご了承ください。

学校評価の取組は、「学校と家庭・地域が双方向の信頼関係のもとに情報や課題意識を共有し、改善することを目指しています。そして、アンケートについては、「児童」「保護者」「教職員」がそれぞれのことを振り返る自己評価という形で行っています。その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で分析・考察をしています。今回の結果を踏まえて今後の取組に活かしていきたいと思います。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

### 「みなみアンケート」について《保護者の回答率約94.3%》

**(アンケート結果) A:そう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない (%)**

	児童	保護者	教職員
思いやりのある子徳(豊かな心)	進んであいさつをしている。  A : 50.7 B : 39.9 C : 8.7 D : 0.7	子どもに、友達や地域の人に進んで挨拶するよう家庭でも挨拶している。  A : 31.6 B : 61.0 C : 7.1 D : 0.3	進んで挨拶できるように、教職員自ら児童に挨拶している。  A : 58.8 B : 38.3 C : 2.9 D : 0.0
	人にやさしくしている。  A : 54.5 B : 40.8 C : 4.2 D : 0.5	子どもに、友達と仲良くするよう働きかけている。  A : 38.3 B : 58.8 C : 2.8 D : 0.1	児童が仲良く過ごせるよう学級経営や指導を工夫している。  A : 41.9 B : 58.1 C : 0.0 D : 0.0
	スリッパやはきものをそろえたりしている。  A : 48.3 B : 36.1 C : 13.2 D : 2.4	子どもに、掃除やはきものをそろえることの大切さを話している。  A : 18.9 B : 52.9 C : 27.2 D : 1.0	児童に、掃除の大切さやはきものをそろえることの大切さを常に指導している。  A : 48.5 B : 51.5 C : 0.0 D : 0.0
自ら進んで学ぶ子知(確かな学力)	進んで、読書をしている。  A : 53.5 B : 29.8 C : 14.0 D : 2.7	子どもに、家庭でも読書をするようにすすめている。  A : 27.0 B : 38.9 C : 29.7 D : 4.4	児童に、マイバッグの活用など読書活動の推進に向けて取り組んでいる。  A : 29.0 B : 48.4 C : 16.1 D : 6.5
	人の話を、最後まで聞いている。  A : 49.9 B : 40.9 C : 8.5 D : 0.7	子どもに、人の話を最後まで聞くよう働きかけている。  A : 22.6 B : 62.0 C : 14.6 D : 0.8	児童に、話を聞くことの大切さや聞き方にについて具体的に示して指導している。  A : 41.9 B : 58.1 C : 0.0 D : 0.0
	授業中、自分の考えを、進んで話せる。  A : 41.7 B : 36.1 C : 18.3 D : 3.9	子どもに、授業中、自分の考えを進んで話せるよう励ましている。  A : 15.2 B : 53.0 C : 28.5 D : 3.3	児童に、自分の考えを話すことの大切さや、話し方について、具体的に指導している。  A : 41.9 B : 58.1 C : 0.0 D : 0.0
体を大切にする子体(健やかな体)	外遊びなどで、よく体を動かしている。  A : 54.5 B : 23.6 C : 17.3 D : 4.6	子どもに、外遊びなどでよく体を動かすよう働きかけている。  A : 29.4 B : 46.0 C : 23.0 D : 1.6	児童に外遊びなどで体を動かすよう働きかけている。  A : 22.6 B : 45.2 C : 32.2 D : 0.0
	好き嫌いなく、給食を食べている。  A : 56.9 B : 31.4 C : 8.9 D : 2.8	子どもに、好き嫌いなく食べるよう働きかけている。  A : 38.5 B : 49.0 C : 11.7 D : 0.8	児童に、給食を好き嫌いなく食べるよう指導している。  A : 53.1 B : 43.8 C : 3.1 D : 0.0
	登下校時や帰宅後も安全に気をつけている。  A : 74.5 B : 21.3 C : 3.3 D : 0.9	子どもが、登下校時や帰宅後も安全に気をつけているか見守ったり、声をかけたりしている。  A : 35.5 B : 56.1 C : 7.6 D : 0.8	児童に、登下校時や帰宅後も安全に気をつけるなど、安全指導を行っている。  A : 51.5 B : 45.5 C : 3.0 D : 0.0

その他	学校、学級だよりやホームページなどで学校の様子や取組が分かっている。 A : 19.3 B : 61.2 C : 17.5 D : 2.0	学校、学級だよりやホームページなどで学校の様子や取組を伝えている。 A : 15.6 B : 56.3 C : 25.0 D : 3.1
	PTA活動や地域行事に参加・協力している。 A : 14.1 B : 48.6 C : 31.4 D : 5.9	PTA活動や地域行事に参加・協力している。 A : 15.2 B : 42.4 C : 33.3 D : 9.1

[集計結果の考察] ■ そう思う □ だいたいそう思う △ あまりそう思わない ▨ そう思わない

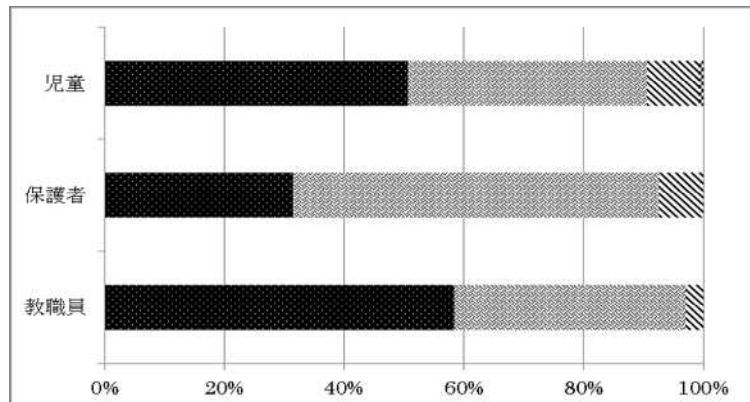
### 一思いやりのる子 德（豊かな心）について

#### ☆進んであいさつをしている

児童「進んであいさつしている」の回答が、前回の87%から90.6%に増加しました。また、教職員「あまりしていない」の回答が、3.5%から2.9%に減少し、「自らあいさつ」がほんの少し増加しています。

これは、「こちらから声をかけてもあいさつが返ってこない」という声があるものの、あきらめずにあいさつの継続や、教室での声かけ、児童会での取組等の努力が結果に表れたのではないかと考えられます。

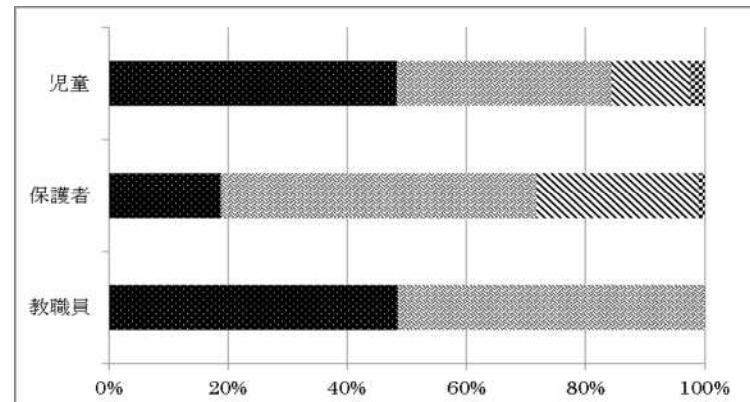
前回にも述べましたが、あいさつは、相手の存在を認める一つの表現です。人権を大切にする一歩と言えます。また、自分の存在を伝えるものもあります。人と人をつなぐあいさつ、身近にいる私たち大人が手本となり、気持ちのよいあいさつを交わすようにしたいものです。



#### ☆進んでそうじをしたり、スリッパやはきものをそろえたりしている

「している」と答えた児童は、84.4%となり、前回の80.5%より増加しました。中でも、A「そう思う」が42%から48.3%に大きく増加しています。あわせて、保護者の「できていない」と言う回答が、前回の31.1%から28.2%に減り、反対に「している」が68.9%から71.8%に増えました。また、教職員のC「あまりしていない」6.9%だった前回から今回は0%となり、全教職員が「している」と答えました。

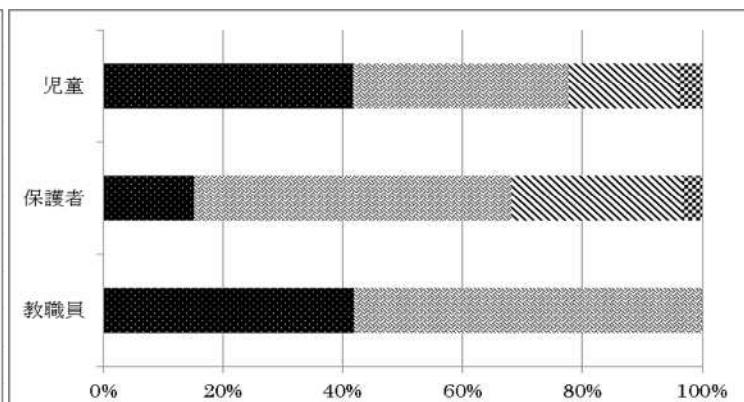
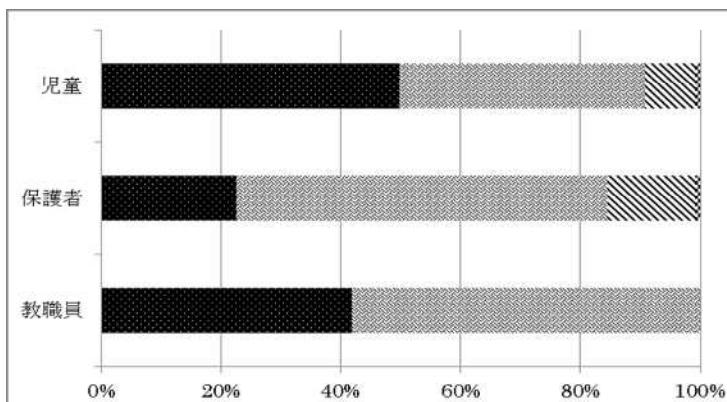
教職員の徹底した指導の継続で、掃除やはきものをそろえることの大切さを児童も理解し、それが行動につながったのではないでしょうか。今後も、様々な場面で児童がさらに自主的に行動できるように、継続して取り組んでいきたいと思います。



### 一自ら進んで学ぶ子 知（確かな学力）について

#### ☆人の話を、最後まで聞いてている

#### ☆自分の考えを、進んで話したり書いたりしている



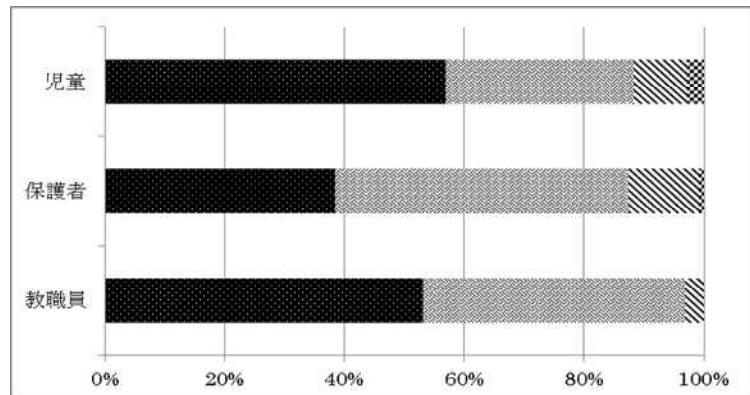
聞くことに関して、「している」と回答した児童は90.8%，話したり書いたりすることに関しては、77.8%となり、前期に比べてそれぞれ少しづつ改善されています。一方、保護者の方、教職員の「している」は、減少しています。これは、声かけをしていないことではなく、今までの指導が実を結び始め、結果となって表れたのではないでしょうか。つまり、1年の後半になり、「聞く」「話す・書く」について具体的な指導をしなくとも、児童の身に付き始めているのではないかと思われます。さらなるレベルアップをめざし、取組の継続・工夫をしていこうと思います。

## 一体を大切にする子 体（健やかな体）についてー

### ☆好ききらいなく、給食を食べている

「好ききらいなく」と答えた児童が、88.3%となり、前回より5.3%増加しました。教職員の声かけについても、96.9%となり、前回より7.6%増加しています。

これは、児童の体も大きくなり、食べる量も増えたことや、やはり、教室での担任の声かけが大きく影響していると思われます。声かけや指導はもちろん、給食時間のよい雰囲気づくりも大切にしたいものです。

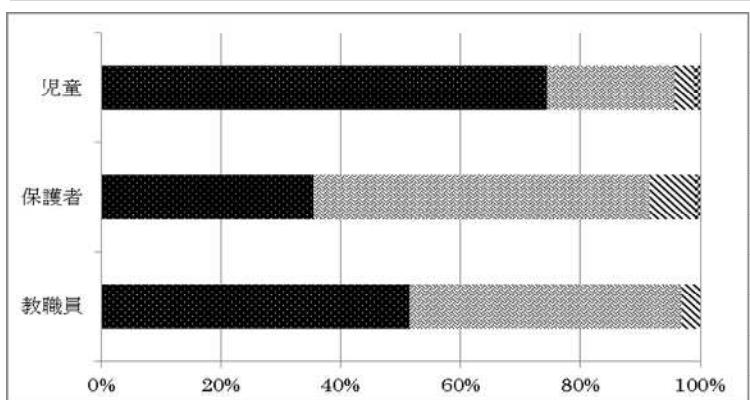


### ☆登下校時や帰宅後も安全に気をつけている

今回、保護者の方、教職員の回答に関して大きな変化はありませんでした。しかし、児童の95.8%が「している」と回答し、前回の91.6%を超えるました。

保護者の方・教職員の以前から変わらぬ指導と地域の皆様の見守りのおかげです。

さらに安全に対する意識を高くもち、安全ノートを活用しながら、「道路では横に広がらない、とび出さない」などの声かけをしていこうと思います。また、登下校のマナーについても、引き続き指導をしていきます。



### 【保護者の皆様からのご意見】（紙面の都合上、ご意見の一部でありますことをご了承ください。）

- 個人懇談会の日、雨天時の児童の待つ場所について、ご質問をいただきました。体育館の開放に関しては安全上難しい状況です。しかし、廊下で保護者の方を待つことは、可能としております。きちんとお伝えできていなかつたようで、申し訳ございません。
- 給食エプロンの新調に関しては、PTAの方から援助いただき、新しいものを購入する予定です。全てを一度に新調することは難しいので、高学年より2学年ずつ新しくしていきます。
- 宿泊学習から帰ってきたときの帰校式が長すぎるというご意見をいただきました。指導者からの話は代表者だけにする等の工夫をして、児童ができるだけ早く帰ることができるようにならないかと思います。
- 人権授業参観・講演会について、講演会の講師であった毛利先生のお話が楽しく、また自分を振り返るきっかけとなり、とても良かったというご意見をいただきました。来年度の人権授業参観についても、より充実したものになるよう考えていくかと思います。
- 学校やPTAの行事で、保護者参加を推奨するものが多いことに負担感をもっておられるご家庭があるようです。反面、参加することで学校の様子や児童の様子がよく分かってよいというご意見もありました。様々な面を考慮しながら、行事の日程や内容について検討していきます。
- 学校評価アンケート（みなみアンケート）の項目内容についても様々なご意見やご感想をいただきました。来年度のアンケートをさせていただくときの参考にさせていただきます。
- この他にも貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。来年度も、学校教育目標である「自ら学び 心豊かに たくましく生きる子の育成」をめざして、児童が元気に安心して学校生活を送れるように、教職員一同努力して参ります。

【学校評価委員会の皆様からのご意見】（紙面の都合上、ご意見の一部でありますことをご了承ください。）

- ・学校でははきものをそろえることができていても、家ではできていないことがある。生活に生かされていない。家の伝え方の工夫もいるのかもしれない。
- ・あいさつも掃除も、出来ているつもりの子もいるだろう。中身が大切である。「それではできていないよ」ということを伝えていくことが必要である。
- ・安全に関してのアンケート内容は、交通面のみを問うている。今の世の中は、SNS等での目に見えない危険が多い。我々の子ども時代とは違う。アンケート内容に情報モラル面を問うようなものを加えてもよいのではないだろうか。
- ・これからは、地域のコミュニティについて、人々のとらえ方が変化している。このことを意識して、様々な取組を考えていかなければならぬかもしれない。

以上、報告させていただきます。学校評価の指標は、このアンケートだけではありません。普段からの、児童、保護者、地域の皆様のお声を聞かせていただきながら、日々、学校運営改善に努めております。

今後とも、ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。

# 京都はぐくみ憲章

～子どもと共に育む京都市民憲章～



京都はぐくみ憲章

わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。きずな
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

1 9 2 5  
平成19年2月5日(育児ニコニコ笑顔の日)制定  
3月13日 京都市会が憲章推進を決議